

10 観光施設

(1) 施設一覧

施設名	所在地	基本的な方針	
竹島水族館	竹島町 11	存続	長期にわたって維持し適切な時期に建替え
海辺の文学記念館	竹島町 424-2	存続	計画的に修繕を行い、適切な時期に建替え
ナビテラス	元町 70-1-2	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
海賓館マリンセンターハウス	港町	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
西浦温泉レストハウス	西浦町大山 25-6	存続	計画的に修繕を行い、適切な時期に建替え なお、建替え時には一部施設を廃止
竹島レストハウス	竹島町 25-1	存続	計画的に修繕を行い、適切な時期に建替え
三河大島海水浴場	三谷町大島 6-3	存続	計画的に修繕を行い、適切な時期に建替え 利用状況等を考慮し、一部施設を廃止
西浦園地	西浦町大山 17-1	存続	計画的に修繕を行い、適切に維持
西浦温泉塩柄遊園地	西浦町塩柄 84-1	存続	計画的に修繕を行い、適切に維持
竹島園地	竹島町 31-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
三谷温泉園地休憩所	三谷町南山 1-19	存続	計画的に修繕を行い、適切に維持
三谷温泉園地鳶久休憩所	三谷町鳶久 14-1	存続	計画的に修繕を行い、適切な時期に建替え なお、建替え時には一部施設を廃止
乃木山休憩所	三谷町鳶久 14-1	存続	利用頻度等を考慮し、廃止を検討
弘法山園地	三谷町南山 1-9	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
竹島駐車場	竹島町 31-1	存続	適切に維持
砥神山エコトイレ	三谷町原山	存続	目標使用年数まで適切に維持
七舗公衆便所	三谷町七舗 95-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
竹島島内公衆便所	竹島町 30	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
水族館前円形公衆便所	竹島町 4	存続	計画的に修繕を行い、適切な時期に建替え
みなとオアシストイレ	港町 1035	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
アジサイ園地駐車場	金平町上ノ坊 14-7	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
西浦海水浴場	西浦町塩柄 84-5	存続	適切な時期に建替え

(2) 基本的な方針の考え方

- ・竹島水族館は、観光の中心地である竹島地区の中でも象徴的な施設であり、多くの入館者が訪れています。平成 29 年度に耐震改修工事を実施しましたが、開館当初から

使用する設備も残るため、計画的に施設・設備の改修を行うことで建替え時期まで適切に維持します。

- ・海辺の文学記念館は、明治時代の建物を移築した保存建築物であり、竹島地区の観光施設として多くの方に利用されています。今後も計画的に修繕を行うことで適切に維持します。
- ・ナビテラスは、蒲郡市の玄関口として観光案内所の役割を持つ施設であり、築後 10 年未満の比較的新しい建物であるため、計画的に修繕を行うことで長期にわたって維持します。
- ・海賓館マリンセンターハウスは、みなとオアシスがまごおりの中心施設として港の賑わい創出に寄与しており、今後も計画的に修繕を行うことで長期にわたって維持していきます。
- ・その他市内の観光施設に設置された休憩所、公衆便所などの小規模建物についても計画的に修繕を行い、目標使用年数まで適切に維持します。ただし、各施設の利用頻度等を考慮し、一部施設の廃止や建て替えの際の施設規模について検討を行います。

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	竹島水族館	所在地	竹島町11
施設コード	81	施設面積	1,996.4㎡
土地所有状況	市有地：2,860.29㎡	建設年	昭和37年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	耐震化状況	耐震補強済
避難所指定の有無	無	管理者	指定管理
施設老朽化度	3.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>観光の中心地である竹島地区のなかでも、象徴的な施設であり、年間約40万人の入館者数がある。指定管理者の多様な工夫や自主事業により年々入館者数を伸ばしており、繁忙期には現在のキャパシティでは収まりきらないこともある。</p> <p>施設については平成29年度に以後20年間の利用を見越して耐震工事を行った。指定管理者との協定書に基づいて小規模な修繕は指定管理者が実施することになっているが、築55年以上が経過し、老朽化が進んでいる設備も多いため、令和2年度に策定した設備管理計画に基づいて順次更新していく。今後も長期にわたって維持し、適切な時期に建替えを検討する。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>平成18年度から指定管理者制度を導入。</p> <p>平成29年度に大規模な耐震化工事を実施。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>平成29年度に耐震工事を実施済ではあるが、屋根からの雨漏りや内装のひび割れ等の建物自体の細かい部分の劣化や、ポンプやろ過槽などの設備の劣化は多い。</p> <p>令和24年度ごろまでの利用を考え、計画的に更新していく必要がある。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>入館者数の増加により、繁忙期はキャパシティオーバーしている部分もある。入館者数の今後の推移を見極めながら、耐震工事後20年、築80年を目安に、どのように建て替えを実施するのかを検討していく。</p>	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

平成29年度に耐震工事を行ったため、使用目標は築80年となる令和24年度に設定する。東港地区の利用計画等と合わせて、より良い建て替え場所や施設の大きさ、跡地の利用方法等を早期から考えていく必要がある。これまでも維持管理のための工事や修繕を多々行っているが、機材も老朽化していてその都度直していくといった形になっている。目視確認や点検等により劣化状況を把握し、適正な維持管理を図る。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	取替工事、改修工事、修繕工事	36,368	原水圧力ろ過機取替、衛生設備(換気)、電力・電灯、受変電設備改修
令和4年度	取替工事、改修工事、修繕工事	1,373	アシカプールろ過槽逆洗ポンプ取替
令和5年度	取替工事、改修工事、修繕工事	13,246	一般海水・バクバクプール・熱帯淡水循環ポンプ取替、内部建具、床、天井、給排水衛生設備
令和6年度	取替工事、修繕工事	12,628	一般海水・バクバクプール・熱帯淡水循環ポンプ取替、内装壁
令和7年度	取替工事、改修工事、修繕工事	38,340	飼育水槽用温水ボイラー取替、衛生設備(自動制御)、電気設備(通信・情報)
令和8年度	取替工事	4,654	2m水槽取替
令和9年度	取替工事	3,789	カブトガニ水槽取替
令和10年度	竹島水族館改修工事、付属屋修繕工事、倉庫修繕工事	12,404	水族館：外部建具 付属屋：一式修繕 倉庫：屋根、床、天井
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度	竹島水族館修繕工事、倉庫修繕工事	8,804	水族館：吹付塗装 倉庫：外壁(吹付塗材)・外部建具・内部壁
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度	建替工事	993,330	
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		1,124,936	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	4,732	4,923	4,588	
運用コスト	17,672	17,910	15,773	
修繕コスト	208,050	5,777	7,068	
その他				
合計	230,454	28,610	27,429	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	144,162	190,483	157,516	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	359,591	475,112	384,945	

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	海辺の文学記念館	所在地	竹島町424-2
施設コード	80	施設面積	346.5㎡
土地所有状況	市有地：1,986㎡	建設年	海辺の文学記念館：平成8年 便所：昭和58年
構造・階数	海辺の文学記念館：木造・1階 便所：鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	指定管理
施設老朽化度	3.1	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>料理旅館常磐館の当時の趣を残す観光施設として、竹島への観光客が多く立ち寄る。令和2年度より指定管理制度を開始した。民間の活力を活かし、利用者の増加を図る。今後も存続していく予定だが、築後20年を経過し、外壁の塗装の剥がれなどが生じている。維持管理費用も高くなることが想定されるが、建て替えの際には経費を抑えることができつつ、観光施設としての趣も失わない施工方法を検討する必要がある。また、便所に関しては、給排水設備や建具の状態等を注視していく。計画的に修繕を行い、適切な時期に建替えを検討する。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>令和2年度より指定管理者制度を導入し、少額の修繕は指定管理者が行っている。（大規模な工事等は市が施工）</p>	
目標使用年数	海辺の文学記念館：50年、便所：80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>文学記念館の外壁の破損が進行しており、計画に基づいて塗装する必要がある。また、和室の空調機が特殊な設備を使用しているため、取り替えの際には工事が必要になると思われる。特に夏季に空調機が止まってしまうと熱中症の危険性があるため、故障の可能性がある場合には計画を前倒ししてでも取替工事をする必要がある。</p> <p>また、便所は給排水設備の改修工事等、長期的に使用するために計画に基づいて実施する必要がある。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>文学記念館が木造であることから老朽化の進行が早くなると思われるため、外壁の塗装の頻度など、維持費用が今後高くなることが想定される。</p>	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

文学記念館の建物は、今後も目視確認や点検等を行い長期で利用していく。ただし、現状が木造であり、劣化が激しくなることが想定される。そのため、今後の建て替え方法等を検討していく必要がある。海辺の文学記念館は木造であり、老朽化の進行が早いと考えるため、目標使用年数を50年で設定した。目視確認や点検等により損傷・破損個所の有無や劣化状況を把握することで、修繕措置等を行いながら適正な維持管理を図る。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額(千円)	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度	海辺の文学記念館改修工事 便所修繕	1,706	海辺の文学記念館：塗装 便所：電力・電灯
令和6年度	海辺の文学記念館修繕工事 便所修繕工事	535	海辺の文学記念館：屋根、建具 便所：内部建具・内部天井
令和7年度	海辺の文学記念館修繕工事 便所改修工事	1,870	海辺の文学記念館：電力・電灯 便所：屋根
令和8年度	海辺の文学記念館修繕工事・改修工事 便所修繕工事	1,027	海辺の文学記念館：内部建具、衛生設備(自動制御) 便所：外部建具
令和9年度			
令和10年度	海辺の文学記念館修繕工事 便所修繕工事	2,989	海辺の文学記念館：衛生設備(換気) 便所：内装床・給排水衛生
令和11年度	海辺の文学記念館修繕工事	641	床、天井、内装床
令和12年度	海辺の文学記念館修繕工事・改修工事	1,130	電気設備(通信・情報)、電気設備(防災)
令和13年度	海辺の文学記念館修繕工事	939	衛生設備(給排水衛生)
令和14年度	海辺の文学記念館修繕工事・改修工事	1,127	内部建具、電気設備(避雷・屋外)
令和15年度	海辺の文学記念館修繕工事	1,588	空調設備
令和16年度	海辺の文学記念館修繕工事 便所改修工事	3,340	海辺の文学記念館：外部建具 便所：外壁(タイル)
令和17年度	海辺の文学記念館修繕工事	1,109	屋根
令和18年度	海辺の文学記念館改修工事・修繕工事 便所修繕工事	1,423	海辺の文学記念館：塗装、内部建具、電力・電灯 便所：建具
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	便所修繕工事	2,760	便所：電力・電灯、給排水衛生設備
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度	海辺の文学記念館建替工事	81,341	
	合計	103,525	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	324	324	324	
運用コスト	619	629	619	
修繕コスト	384	355	1,126	
その他				
合計	1,327	1,308	2,069	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	17,490	16,524	15,156	

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	ナビテラス（蒲郡市観光交流センター）	所在地	元町70-1-2
施設コード	83	施設面積	429.41㎡
土地所有状況	借地：831㎡	建設年	平成25年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	1.1	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
蒲郡市の観光拠点として、観光案内だけではなくイベントスペース、会議スペースとしても市民が利用できる施設となっている。令和元年度に物販を開始し、さらなる機能の拡充を図っていく必要があり、今後も存続予定である。また、国内旅行者やインバウンドの旅行者が立ち寄る施設であるため、外観や設備を常に整えておく必要がある。施設の運用に支障が出ないように、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
平成30年9月11日（火）に第1回ナビテラス魅力向上委員会を開催。 平成30年12月27日（木）に第2回ナビテラス魅力向上委員会を開催。 今後の方針について検討したのち、物販を開始して蒲郡の特産品等を観光客にPRする機能が必要であると考えたため、令和元年度の途中から物販を開始している。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建設からあまり年月が経っておらず、目立った問題は見られないが、内装床に隆起している箇所が見受けられるなど、修繕が必要な箇所も現れ始めているため、状況を注視していく。
【中・長期的課題】
観光案内所としてだけでなく、物販の現在以上の充実や展示エリアの利用の活性化など、長期的に使用していけるよう検討を進めていく必要がある。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

現在は大きな問題等は見受けられないが、引き続き計画的な保全を実施していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度	ナビテラス修繕工事	2,607	内装壁
令和11年度	ナビテラス修繕工事	957	電力・電灯
令和12年度	ナビテラス修繕工事	2,617	通信・情報
令和13年度	ナビテラス修繕工事	2,216	給排水衛生設備
令和14年度	ナビテラス修繕工事 公衆便所修繕工事	2,637	ナビテラス：建具 公衆便所：外壁、内装床、天井、内装壁、給排水衛生設備
令和15年度	ナビテラス修繕工事	1,513	外壁
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度	ナビテラス修繕工事	2,166	衛生設備(自動制御)
令和23年度	ナビテラス修繕工事	1,270	空調設備
令和24年度	ナビテラス改修工事	2,216	衛生設備(換気)
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		18,199	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	5,000	5,000	5,000	
運用コスト	1,069	1,133	1,123	
修繕コスト		124	71	
その他				
合計	6,069	6,257	6,194	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	201	201	201	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	31,511	32,336	26,783	

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	土木港湾課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	海賓館マリンセンターハウス	所在地	港町
施設コード	1	施設面積	277.5㎡
土地所有状況	借地：10,953.0㎡	建設年	平成8年
構造・階数	木造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>みなとオアシスがまごおりの代表施設として、情報提供機能、休憩機能、商業機能、災害時支援機能を有した施設として登録している。</p> <p>現在は、平成8年の移築復元してから約20年経過により、施設の老朽化が進んでおり、レストラン「オンディーナ」、三河木綿のアンテナ「夢織人」へ貸付を行っているため、適宜、修繕を行っている状況。</p> <p>また、昭和初期（2年）の貴重な洋風建築であり、歴史的・文化的遺産としての価値を踏まえ、今後も計画的に修繕を行うことで長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>海の街がまごおりとして、海のまちづくり推進事業の一環である、港の賑わい創出に寄与する施設として捉えており、みなとオアシスがまごおりの中心施設としての方針に変更無し。</p> <p>施設の一部が飲食店になっており、海に見えるレストランとして市外からも多くのお客が訪れている。そのため、商業施設としての維持管理が必要である。</p> <p>みなとオアシスがまごおりだけでなく、竹島ふ頭及び蒲郡ふ頭を含めた港の賑わいづくりのため、施設維持の方針に変更無しと結論づけた。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>排水管の詰まりによる漏水の可能性があり、柱の腐食なども見受けられる。内部壁、天井クロス汚れも目立って来ており、貸付を行っている側としては修繕を実施していきたい。加えて、配管の更新や照明器具等の更新も必要となってくる。そして、厨房機器更新については、蒲郡市所有で実施するか利用者負担にするか検討する必要がある。</p> <p>また、台風時の雨戸・椅子等を収納する倉庫が必要である。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>蒲郡市の重要施設として維持管理し、長寿命化を図っていきたい。また、海に近く、潮風の影響を受けやすいため、外壁塗装の頻度を多くする必要性があると考えられる。</p> <p>現在の借入人が将来にわたって継続利用するかは不透明であること、また、今後の竹島ふ頭、東港一帯、駅周辺等の土地利用においては、施設存続等について再検討する必要性があると考えられる。</p>	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

貸付収入をもとに維持修繕を実施し、維持修繕することで安定的な貸付収入を得るべく賃借人の継続利用を図っていく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	内部改修	1,716	天井の張替え
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度	外壁、内部壁、電灯改修	7,803	外壁塗装、内部壁張替え
令和7年度	衛生設備改修	4,016	トイレの更新
令和8年度	空調設備・衛生設備改修	8,552	換気設備改修
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度	大規模改修工事	23,640	受変電、屋根、床
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度	空調設備修繕	1,270	
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度	内部建具・空調設備修繕	1,376	
合 計		48,373	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	364	364	367	
運用コスト	2,061	2,108	2,032	
修繕コスト	395	987	325	
その他	25	26	26	
合計	2,845	3,485	2,750	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	4,024	4,003	3,923	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	19,304	19,113	18,309	

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	西浦温泉レストハウス	所在地	西浦町大山25-6
施設コード	71	施設面積	139.75㎡
土地所有状況	借地：5.971㎡	建設年	昭和41年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.6	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>観光客のための休憩所、バスの待合所として利用されている。給排水設備の頻繁な故障等、築50年を超えていることから老朽化が進んでいる。利用者数の減少など、休憩所としてのニーズが大きいとはいえないことから、建て替えのタイミングで休憩所機能を廃止して、便所機能のみの運用とするような建て替えを検討する。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>平成30年度に西浦レストハウス活用検討委員会を実施。 トイレ機能は必要であり、その他の部分は意見を広く募って良い案が無いのであれば廃止でもよいのではという結論。 その後、令和2年度にサウンディング型市場調査を実施したところ、既存の建物を活かした観光振興策の提案は出てこなかったため、休憩所機能は廃止していくという結論に至った。</p>	
目標使用年数	70年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
給排水設備の修繕が多いため、注視していく必要がある。
【中・長期的課題】
建物の屋根部が西浦観光協会の駐車スペースとなっているため、令和19年に予定している建替えに向けて、西浦観光協会との調整を進める必要がある。また、現在はバス会社の待合所となっているため、バス会社との調整も進めていく必要がある。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

築50年を経過しているため、壁面の亀裂等を注視する。目標使用年数を70年で設定し、それまでに一部施設の廃止に向けた検討及び調整を進める。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度	改修工事・修繕工事	2,343	天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯
令和8年度			
令和9年度	修繕工事	880	給排水衛生設備
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度	建替工事	54,666	規模縮小
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度	修繕工事	617	給排水衛生設備
令和28年度			
合 計		58,506	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	131	131	131	
運用コスト	40	40	29	
修繕コスト	197	117	107	
その他				
合計	368	288	267	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	竹島レストハウス	所在地	竹島町25-1
施設コード	75	施設面積	128.22㎡
土地所有状況	市有地：7,355㎡	建設年	昭和42年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.6	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
竹島園地の中心に位置し、竹島クラフトセンターでは観光客の手織り体験や一般の手織り教室が開催されているほか、三河木綿関連の商品の販売も行っている。竹島レストハウス単体ではなく、竹島エリア全体で活用方法を考えていくため、今後も存続で考えていく。ただし、築50年を経過しているため、建物の状況を注視していく必要がある。東港地区開発の動きも踏まえつつ更なる魅力的な活用方法の検討を行っていきながら、計画的に修繕を行って、適切な時期に建替えを検討する。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
平成30年9月に竹島レストハウス活用検討委員会を開催し、今後の利用方法について検討した。結果、新たな利用案が無いようなら現状のような形で使用継続できれば良いという結論となった。 令和2年度に今後の活用方法等を民間事業者等から広く募るためのサウンディング型市場調査を実施。景観の良さを活かした複数の案が出てきたが、竹島レストハウス単体で建て替えを考えるのではなく、竹島エリア全体で考えるべきという意見があったため、東港地区開発の動きも踏まえて今後建替計画を考えていく。	
目標使用年数	70年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
大雨後には床の浸水などがあり、適宜修繕を行う必要がある。また、外壁、内壁、天井などが老朽化しているため、状態を注視する必要がある。
【中・長期的課題】
観光客の利用という面で、現在の状態がベストなのか検討が必要であり、建替え時期として想定する令和19年度までに、更なる魅力的な活用方法の検討を行っていく。また、立地が良いため、常により魅力的な活用方法を考えていく。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

築50年が経過して老朽化している設備の改修を行っていく必要がある。現在入っているテナントの運営に支障が出ないような修繕を適宜実施し、維持管理していく。目標使用年数を70年で設定し、それまでに建替え後の活用方法等に関して検討及び調整を進めていく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度	修繕工事	813	給排水衛生設備
令和7年度	修繕工事	1,549	天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯、空調
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度	建替工事	96,811	
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		99,173	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	112	116	105	
修繕コスト	39	128		
その他				
合計	151	244	105	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	275	272	279	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	三河大島海水浴場施設	所在地	三谷町大島6-3
施設コード	82	施設面積	133.65㎡
土地所有状況	借地：1,190㎡	建設年	昭和50年
構造・階数	鉄骨造ほか・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>海水浴場開設期間の7月、8月のみの利用で毎年約15,000人前後が訪れるが、ここ2、3年は台風による被害を大きく受け、警備員詰所の建替工事等に多くの費用がかかっている。無人島内の施設という特殊なケースのため、海水浴場開設期間中に適宜必要な修繕を実施することで海水浴場開設に支障がでないように維持していく。島内の施設のため、工事の際には運搬費及び場合によっては台船費用が必要となる。計画的に修繕を行って適切な時期に建替えを検討する。また、使用していない発電機室など、利用状況を考慮し、一部施設の廃止も検討する。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	50年（一部施設は40年）

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>台風の影響を受けやすく、風雨の影響で劣化が著しい施設も多いため、便所の建具の取替依頼などが多い。</p>
【中・長期的課題】
<p>ここ数年の台風直撃の被害を見ると、施設をこれからも維持するためには相当額の維持管理経費が必要であると思われる。今後も海水浴場は開設する予定のため、存続予定の施設に関しては時に大規模な改修工事も行いながら、長期に渡って維持管理していく必要がある。</p>

観光施設

4. 維持・管理実施方針

台風による影響を受けやすいので、毎年劣化具合を注視していく。台風で建物が全壊した場合等には緊急施工が必要になる可能性がある。西浜に関しては現在海水浴場を開設していないので、西浜警備詰所は解体を視野に計画を進める。台風などの影響を受けやすく、老朽化の進行が早いと考えるため、目標使用年数は50年（一部施設は40年）に設定した。目標使用年数までは必要な修繕等を実施しながら使用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度	東浜シャワー更衣室改修工事	3,567	屋根、天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯給排水衛生設備
令和10年度	東浜予備自家発電機室解体工事	591	
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度	東浜公衆便所改修工事	820	屋根、天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯給排水衛生設備
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度	建替工事（東浜シャワー・更衣室、東浜自家発電機室、東浜便所、貯蔵所、西浜自家発電機室、西浜公衆便所ポンプ室）	25,118	
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	建替工事（東浜高架水槽、給水槽、西浜便所）	12,859	
令和26年度	西浜警備員詰所解体工事		
令和27年度	東浜公衆便所建替工事	4,340	
令和28年度			
合 計		47,295	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	111	111	116	
運用コスト	17	17	18	
修繕コスト	1,218	564	7,672	
その他				
合計	1,346	692	7,806	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	15,783	13,821	9,774	

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	西浦園地	所在地	西浦町大山17-1
施設コード	72	施設面積	127.04㎡
土地所有状況	87,608㎡	建設年	休憩所：昭和45年 駐車場公衆便所：平成7年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
西浦園地内にある休憩所と西浦マリーナ前の駐車場内にある公衆便所のことである。西浦温泉へ訪れた観光客が多く利用している。西浦園地休憩所は毎年4月に西浦観光協会がさくら祭りを開催しており、観光客の休憩スペースとして利用されている。西浦園地駐車場公衆便所（西浦マリーナ前）は、釣り人などのニーズが高い。西浦園地休憩所に関しては、さくら祭り以外の時期のニーズが低いので、建替えの際には規模の縮小を検討する。西浦園地駐車場公衆便所については、今後も存続していく予定であり、計画的に修繕を行い、適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	60年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
休憩所は老朽化が進んでおり、照明設備等に経年劣化による不具合が発生する可能性があることから、施設の機能維持のために修繕を計画的に実施する必要がある。駐車場公衆便所については、築25年であるが今後経年劣化で亀裂などが生じる可能性があるため、建物の状況を注視する必要がある。	
【中・長期的課題】	
休憩所に関しては、建替え後の規模について検討する必要がある。また、駐車場公衆便所については、今後も使用のニーズが高い施設であるため、長く使用できるよう、必要最低限の修繕を実施していく必要がある。	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

休憩所に関しては、平成29年度に壁面の亀裂の修復工事と令和元年度にトイレの洋式化を実施したが、施設自体は老朽化が進んでいるため目標使用年数を60年に設定した。目標使用年数まで必要最低限の修繕を行って存続していき、施設の一部廃止に向けて検討していく。公衆便所は目標使用年数まで、計画に基づいた修繕等を実施しながら使用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度	駐車場公衆便所修繕工事	863	給排水衛生設備
令和6年度			
令和7年度	駐車場公衆便所改修工事	2,178	屋根、外壁、建具、内部天井
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	休憩所建替工事	37,494	規模縮小
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度	ウッドデッキ改修工事	1,282	
令和18年度	駐車場公衆便所改修工事	3,195	給排水衛生設備
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度	駐車場公衆便所改修工事	801	電力・電灯
令和22年度			
令和23年度	駐車場公衆便所改修工事	537	内装壁
令和24年度	駐車場公衆便所改修工事	1,755	内部建具
令和25年度	駐車場公衆便所改修工事	954	屋根
令和26年度	駐車場公衆便所改修工事	1,153	内装床
令和27年度	休憩所修繕工事 駐車場公衆便所改修工事	695	休憩所：内部建具、内装床、内部天井、内装壁 駐車場公衆便所：外部建具
令和28年度			
合 計		50,907	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	2,465	2,432	2,288	
運用コスト	252	306	421	
修繕コスト	4,065	261	1,045	
その他				
合計	6,782	2,999	3,754	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	西浦温泉塩柄遊園地	所在地	西浦町塩柄84-1
施設コード	73	施設面積	45.64 m ²
土地所有状況	市有地：3,280 m ²	建設年	管理舎：昭和50年 便所：平成29年(建替)
構造・階数	管理舎：鉄骨造・1階 便所：鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	管理舎：指定管理 便所：市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>塩柄駐車場の管理舎と公衆便所である。7月及び8月には西浦温泉パームビーチで海水浴が開設されるため、管理舎の実質的な利用期間はこの2か月間になる。また、便所は、平成29年に建て替えを実施したばかりであるため、しばらくは改修工事の必要はないと思われる。どちらも今後は計画的に修繕を行い、適切に維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p> </p>	
目標使用年数	60年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>管理舎は年間で2か月間のみの利用となるが、内壁の剥がれなど、経年劣化による老朽化が生じている。便所についても利用頻度の高さから給排水設備の故障等が想定されるため、必要に応じて小規模な修繕を行っていく。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>塩柄園地は海水浴客などが多く訪れる施設であるため、管理舎の建て替え後の適切な規模について考えていく必要がある。</p>	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

管理舎については、必要最低限の修繕を実施して建替え時期まで維持していく。便所についても適宜必要な修繕を実施することで、長期に渡って維持していく。海岸近くにあり風雨の影響を受けやすいことから、管理舎については老朽化が進行していると考えため、目標使用年数を60年で設定した。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度	管理舎建替工事	1,987	
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		1,987	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	162	162	162	
運用コスト	228	281	304	
修繕コスト	26,545			
その他				
合計	26,935	443	466	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	竹島園地	所在地	竹島町31-1
施設コード	76	施設面積	255.2㎡
土地所有状況	市有地：6,670㎡	建設年	休憩所：昭和54年 公衆便所：平成27年
構造・階数	休憩所：鉄筋コンクリート造・2階 公衆便所：鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.7	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>竹島園地内にある休憩所と公衆便所である。休憩所は竹島を訪れた観光客の憩いのスペースとなっており、適切に維持管理を行っていく必要がある。内壁の剥がれ等が生じないように塗装等を適切に行う必要がある。</p> <p>公衆便所に関しては、利用者が多いため特に給排水設備において修繕が多い。どちらの施設も計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>公衆便所の利用者数が多く、特に便器の水が流れないなどの給排水設備で修繕が多い。適宜修繕を行う必要がある。</p> <p>休憩所は雨樋部分の劣化が目立って、経過劣化で壁面などの剥がれも見受けられるため、適宜塗装等を行って維持していく。</p>
【中・長期的課題】
<p>公衆便所は建ててから年数が経っていないため、安全性には問題ない。</p> <p>休憩所は築40年以上経っているため、雨漏りなどしていないか今後も適宜確認していく必要がある。</p>

観光施設

4. 維持・管理実施方針

今後も適切に小規模修繕を実施し、長期的に維持する。
 塗装や外壁の改修工事等は、計画に基づいて行っていく。
 また、休憩所に関しては、老朽化で劣化が激しい部分があるため、安全性を確認しながら維持管理を行っていく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度	休憩所改修工事 公衆便所修繕工事	1,003	休憩所：天井 公衆便所：内壁塗装
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	休憩所改修工事	3,508	塗装
令和13年度			
令和14年度	休憩所修繕工事 公衆便所修繕工事 多目的トイレ修繕工事	848	休憩所：電力・電灯 公衆便所：給排水衛生設備 多目的トイレ：電力・電灯
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度	公衆便所修繕工事 多目的トイレ改修工事	598	公衆便所：外部建具、電力・電灯 多目的トイレ：塗装
令和18年度	公衆便所改修工事 多目的トイレ修繕工事	814	公衆便所：屋根 多目的トイレ：床、天井
令和19年度	休憩所改修工事 公衆便所改修工事 多目的トイレ改修工事	532	休憩所：外部建具 公衆便所：塗装 多目的トイレ：屋根
令和20年度			
令和21年度	休憩所修繕工事	1,020	給排水衛生設備
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		8,323	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	401	487	492	
修繕コスト	199	567	46	
その他				
合計	600	1,054	538	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	三谷温泉園地休憩所	所在地	三谷町南山1-19
施設コード	67	施設面積	53.42㎡
土地所有状況	借地：8,900㎡	建設年	平成3年
構造・階数	P・C（プレキャストコンクリート）造 一部三河材・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.0	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
弘法山園地駐車場から弘法大使像に向かう途中にあり、三谷温泉郷を一望できる。令和元年4月に大規模な修繕を行った。一部木材でできており、腐ると危険性が高い。利用者が安全に使用することができるように、木材部分の状態に注視する必要がある。建て替えまでの間、床などの必要最低限の修繕を適宜行う予定であり、計画的に修繕を行い、適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	60年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
木材部分が腐ると危険なため、危険のないよう注視していく必要がある。
【中・長期的課題】
桜の時期などには多くの観光客が訪れ、景観が良く弘法大使像にも近いため、利用ニーズが高い施設である。費用対効果なども考慮し、維持管理方法について再度検討を行う必要がある。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

令和元年度に改修したため、次回の改修時期まで必要に応じて修繕していき、長期的な利用を図る。一部木造で劣化が早いと考えるため、使用目標は60年に設定した。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度	改修工事	2,349	内装床、内装壁等（腐食部分中心）
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		2,349	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	79	79	79	
運用コスト				
修繕コスト			1,274	
その他				
合計	79	79	1,353	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	三谷温泉園地鳶欠休憩所	所在地	三谷町鳶欠14-1
施設コード	68	施設面積	72㎡
土地所有状況	借地：14.40㎡	建設年	昭和60年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.3	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>三谷温泉観光協会にほど近い休憩所であるが、現在は休憩所機能は失われ、トイレのみの運用となっている。普段はあまり利用者がいないが、三谷温泉海岸付近に立地しており、三谷祭や潮干狩りシーズンには多くの観光客の利用がある。それらのニーズを考慮して、令和2年度に洋式化を実施。そのため、今後も計画的に修繕を行い、適切な時期に建て替える予定。なお、現在は2階の休憩所を使用しておらず、1階の便所のみ運用となっているため、建替え時には一部施設の廃止を検討していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	50年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>築35年が経過し、塗装等の剥がれが目立つ。三谷祭りや潮干狩りシーズン以外にも三谷温泉宿泊客に利用されており、安全に利用できるよう注視していく。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>2階部分は以前は休憩所として利用していたが、現在は1階の便所機能のみの利用となっているため、2階部分の廃止を検討する。</p>	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

三谷温泉海岸での潮干狩りや三谷祭の時期を除くと、利用頻度は少ないが、三谷温泉に宿泊した観光客が利用するため、適宜修繕する必要がある。
 2階部分の現在休憩所として利用していない部分は廃止で考えている。
 現状、上記の潮干狩りや三谷祭の時期には大きなニーズがあり、トイレ機能は必要である。50年で使用期限を設定し、建て替え後にはトイレのみの運用ができないか検討する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度	修繕工事	711	建具、給排水衛生設備等
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度	建替工事	22,317	
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		23,028	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	40	40	40	
運用コスト	114	101	99	
修繕コスト	23		36	
その他				
合計	177	141	175	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	乃木山休憩所	所在地	三谷町鳶欠14-1
施設コード	69	施設面積	96.61㎡
土地所有状況	借地：71.40㎡	建設年	昭和56年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.8	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
三谷温泉へ宿泊した観光客向けの休憩所であり、1階部分が便所となっている。当面は存続とするが、利用頻度等を考慮し廃止を検討する。利用者数が多いとは言えないことから便器の洋式化も実施しておらず、廃止を検討する年までは必要最低限の修繕を実施して維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	50年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
給排水設備の修繕が頻繁にあるため、注視して管理する必要がある。また、築40年が経過しているため、壁面などの亀裂にも注意する必要がある。	
【中・長期的課題】	
休憩所と便所両方の面で利用者が多くないため、廃止の方向で検討を進める。現在のニーズを再確認し、廃止に向けた調整を行っていく必要がある。	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

使用年数50年までは必要最低限の修繕で存続を図る。利用者数等を鑑みて、便器の洋式化を行う予定はない。今後10年間の間に周辺住民や地元団体等との調整を進めて、使用年数50年を目途に、廃止を検討する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度	修繕工事	954	給排水設備
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度	廃止検討	4,400	
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		5,354	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	103	103	103	
運用コスト	24	24	21	
修繕コスト	33			
その他				
合計	160	127	124	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	弘法山園地	所在地	三谷町南山1-9
施設コード	70	施設面積	23.55㎡
土地所有状況	借地：2,776㎡	建設年	便所：昭和61年 多目的トイレ：平成21年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
弘法山園地にある公衆便所であり、金剛寺の参拝者や桜の時期に観光客の利用のニーズが多い。ニーズを考えて、令和元年度に便器の洋式化及び外部建具の取替工事を行った。計画的な修繕を行い、長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
給排水設備の修繕が多いため注視する必要がある。修繕は適宜実施しているが、桜が咲き、利用者が多く見込まれる4月頃は特に注意する必要がある。
【中・長期的課題】
弘法大師像が近く、今後も多くの観光客の利用が見込まれるため、適切に維持していく必要がある。利用頻度の多さに加えて老朽化が進むことで今後の維持管理経費が増大することが想定される。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

適宜修繕の実施と改修計画に基づいた改修を随時行っていく。目標使用年数は80年で設定しており、長期に渡って維持していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度	便所改修工事	2,559	屋根、天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯
令和11年度	多目的トイレ改修工事・修繕工事	784	屋根、天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯給排水衛生設備
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度	便所改修工事	976	給排水衛生設備
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		4,319	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	373	373	373	
運用コスト	91	94	116	
修繕コスト	338	35	171	
その他				
合計	802	502	660	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	竹島駐車場	所在地	竹島町31-1
施設コード	77	施設面積	10.2㎡
土地所有状況	市有地：6,670㎡	建設年	昭和63年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	指定管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
竹島駐車場の管理を委託している指定管理者の料金徴収所として利用している。（北側と東側の2箇所ある） 築30年を超えるため、少額の修繕は指定管理者負担の下、適宜実施していく。 大雨後の地面からの床下浸水などが課題。 今後も存続予定であるため、適切に維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	60年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
大雨後には床下浸水が起こることがあるため、台風後などには特に注視し、必要に応じて修繕を行っていく必要がある。	
【中・長期的課題】	
現時点では今後も指定管理者制度を継続していく予定であるため、管理者の運営に支障の出ない範囲で、建て替え後の適正な規模を探っていく必要がある。	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

大雨後などには設備の状況を注意深く観察するとともに、適切な修繕をしていく必要がある。施設の老朽化の状況を考えて、目標使用年数は60年に設定した。最低限必要な修繕を行って維持していく方針である。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計			

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	農林水産課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	砥神山エコトイレ	所在地	三谷町原山
施設コード	246	施設面積	11.00㎡
土地所有状況	-	建設年	平成23年
構造・階数	軽量鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
平成22年度に「あいち森と緑づくり事業」を活用して、三谷町原山地内の登山道及び健康推進課設置のあさやけコースの経路上にトイレを設置しており、砥神山登山者等に利用されている。今後も適切に管理し、目標使用年数まで維持する。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	20年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
特になし
【中・長期的課題】
「あいち森と緑づくり事業」において、平成22年度から令和12年度までは山・人げんき会による適切な維持管理がされることになっている。その後も、適切に維持管理するために対策を検討する必要がある。当該地は上下水道が整備されていないため、循環式水洗トイレを設置したと思われるが、開発業者は事業から撤退しており、今後は修繕も建替も困難である。また、費用対効果等から廃止する意向。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

現在のトイレは、山・人げんき会により適切に維持修繕をしてきているため、今後も保守を適切に行い長期的に利用していく。使用目標は20年に設定する。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	解体	501	
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		501	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計				

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	七舗公衆便所	所在地	三谷町七舗95-1
施設コード	293	施設面積	20.4㎡
土地所有状況	市有地：1,166㎡	建設年	令和元年
構造・階数	木造・1階	耐震化状況	耐震性能有
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
令和元年度に三谷総代会によって建設され、市に寄付された。三谷祭開催時や年末年始に使用者が増える傾向がある。建設後まもなくであるため現在は修繕等がほとんどないが、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
建設後間もないため、特になし。今後も必要な修繕を実施する。
【中・長期的課題】
八劔神社に多くの観光客が来訪する三谷祭や年末年始の時期などに利用が増えることが想定され、老朽化が進むと給排水設備等の修繕が集中する可能性がある。使用頻度が増える時期の前に定期的に点検をする必要がある。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

今後も必要最低限の修繕を実施しながら使用していく。また、目視確認や点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状態を把握し、修繕措置等を行いながら適正な維持管理を図る。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度	改修工事	1,047	給排水衛生設備
令和27年度			
令和28年度			
合 計		1,047	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト			55	
運用コスト			16	
修繕コスト				
その他				
合計			71	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	竹島島内公衆便所	所在地	竹島町30
施設コード	295	施設面積	9.38㎡
土地所有状況	借地：19,119㎡	建設年	昭和53年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
竹島島内にあり、八百富神社を参拝した観光客が利用する。平成5年に設備の改修を行い、令和元年度に便器の洋式化を実施した。 竹島内に所在していることから、観光客の需要が高い。計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	70年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
便器から排水が湧き出てくるなどの給排水設備の故障が定期的であり、その都度修繕を実施している。	
【中・長期的課題】	
老朽化によって、壁面の塗装の剥がれなどが見受けられる。令和2年度に全体の塗装を実施するが、観光客が参拝に多く訪れる竹島島内に位置するトイレであるため、外観などにも気をつけて管理していく必要がある。	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

修繕を繰り返し実施することで、長期的な利用を図る。令和2年度に修繕にて、塗装を実施。大勢の観光客の使用が見込まれるトイレであるため、今後も建具や外壁の剥がれなどに注意する必要がある。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度	改修工事、修繕工事	967	屋根、外壁塗装、建具、床、天井、内装壁、電力・電灯、給排水衛生設備
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		967	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	64	64	64	
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
合計	64	64	64	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	水族館前円形公衆便所	所在地	竹島町4
施設コード	78	施設面積	46.31㎡
土地所有状況	市有地：501.88㎡	建設年	便所：昭和38年 多目的トイレ：平成22年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震補強未
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
竹島水族館付近のため、竹島水族館の利用者や竹島ベイパークの利用者に多く利用されている。竹島水族館の利用者数が増えていることもあり、多くの観光客の利用が見込まれることから、今後も長期的に使用していく。令和2年度に便器の洋式化を実施。計画的に修繕を行って、適切な時期に建替える。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
観光客による利用頻度が多いため、給排水設備の修繕が頻繁にある。竹島水族館の来館者が近年増加している影響で、年間を通じて利用者が多いため、給排水設備や建具の状態を注視していく。	
【中・長期的課題】	
利用者が多いため、特に給排水設備などにおいて劣化速度が速くなる可能性があり、想定している維持管理経費よりも今後多くかかる可能性がある。	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

目標使用年数までは、計画に基づいて必要な修繕等を実施しながら使用していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度	便所改修工事・修繕工事	949	天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度	便所修繕工事	581	屋根、塗装、給排水衛生設備
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度	多目的トイレ改修工事	1,007	天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯給排水衛生設備
令和26年度	便所建替工事	31,057	
令和27年度			
令和28年度			
合 計		33,594	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	374	425	391	
修繕コスト	108	243		
その他				
合計	482	668	391	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	土木港湾課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	みなとオアシストイレ	所在地	港町1035
施設コード	294	施設面積	26.15㎡
土地所有状況	借地：10,953.0㎡	建設年	平成29年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	—	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>訪日外国人旅行者受入基盤整備として設置。みなとオアシスがまごおりの中で、日常だけでなく、イベント時での利用も視野に入れて幅広い利用を見込んでいる。</p> <p>今後、みなとオアシスがまごおりの活性化に加え、蒲郡駅から竹島にかけての賑わいが創出されていく中で、必要な施設であるため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
とくになし。	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
とくになし。	
【中・長期的課題】	
<p>海に近く、潮風の影響を受けやすいため、設備の劣化には留意して随時修繕していく必要があると考えられる。また、他と比較して修繕を行うスパンが短いことが懸念されるため、対応策を講じる必要があると思われる。</p>	

観光施設

4. 維持・管理実施方針

現在の良い状態を長く維持できるように、不具合の早期発見と適切な修繕対応を行っていく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度	屋根・内部建具改修、 衛生設備・電気設備他修繕	2,713	トップライト設備（ポリカトップドーム）5ヶ所取替工事含む。
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
	合 計	2,713	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	323	491	505	
運用コスト	108	174	164	
修繕コスト	19,314	43		
その他				
合計	19,745	708	669	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	アジサイ園地駐車場	所在地	金平町上ノ坊14-7
施設コード	79	施設面積	21.76㎡
土地所有状況	市有地：2,500㎡	建設年	便所：平成元年 補陀が池公衆便所：平成7年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>あじさい園地入口付近と補陀が池沿いに2箇所ある。6月のあじさい祭りの期間中に、集中的に使用される。多くの観光客が利用する状況を踏まえて、アジサイ園地内の便所については、令和2年度に便器の洋式化を実施。あじさい祭りの前後には状態を確認するとともに、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>特にあじさい祭り終了後に排水ポンプ等の詰まりによって、修繕の必要性が生じることが多い。あじさい祭り期間中に修繕の必要性が生じないように、開催前に現状を確認する必要がある。また、壁面に汚れが広がっている部分が見受けられるため、状況を注視し、必要に応じて塗装等を行っていく。</p>
【中・長期的課題】
<p>あじさい祭りの際には多くの観光客が使用するため、建替え後の規模等については、検討が必要である。</p>

観光施設

4. 維持・管理実施方針

今後も存続していく方針であり、目視確認等を通じて劣化状況を把握し、修繕を行いながら適正な維持管理を図る。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度	便所改修工事・修繕工事	2,645	屋根、天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯給排水衛生設備
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度			
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度	補陀が池公衆便所改修工事	1,559	屋根、天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯給排水衛生設備
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度	便所改修工事・修繕工事	844	屋根、天井、塗装、建具、内装床、内装壁、電力・電灯給排水衛生設備
令和28年度			
合 計		5,048	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	679	672	614	
運用コスト	488	482	454	
修繕コスト	364	273	250	
その他				
合計	1,531	1,427	1,318	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	観光商工課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	西浦海水浴場	所在地	西浦町塩柄84-5
施設コード	74	施設面積	42.12㎡
土地所有状況	市有地：1,631㎡	建設年	更衣室シャワー室：平成10年 詰所：昭和53年
構造・階数	更衣室シャワー室：木造・1階 詰所：鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	-	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
更衣室シャワー室及び詰所は、海水浴場開設時に必要となる施設である。更衣室シャワー室は木造であるため劣化速度が早い。建て替えの際には、今後の管理や耐用年数を考慮して、木造以外の素材で建て替えができないか検討する。詰所は現在の規模で最小限であり、今以上の規模の縮小は難しい。どちらも海水浴場に必要施設であるため、適切な時期に建替えを検討する。	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
目標使用年数	更衣室シャワー室：35年、詰所：70年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
更衣室シャワー室は木造であるため、経年劣化や潮風によって内装の剥がれや防水の老朽化が進んでいる。必要に応じて修繕を実施する必要がある。
【中・長期的課題】
海岸にあるため、風雨の影響を受けやすい。特に、更衣室シャワー室は木造であるため、台風などの影響によっては建替え年の前倒しを検討する必要がある。

観光施設

4. 維持・管理実施方針

どちらも利用するのは海水浴場開設期間中である7月及び8月であるため、海水浴場開設前後に状態をチェックし、必要に応じて適宜修繕を行っていく。海岸にあって風雨の影響を受けやすいのに加えて、更衣室シャワー室は木造であるため、使用目標を更衣室シャワー室は35年、詰所は70年に設定した。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
令和11年度			
令和12年度			
令和13年度			
令和14年度			
令和15年度	更衣室シャワー室建替工事	12,717	
令和16年度			
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度	詰所建替工事	5,785	
令和21年度			
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度			
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		18,502	

(参考：維持管理経費等の状況)

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	78	71	61	
修繕コスト				
その他				
合計	78	71	61	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数	15,783	13,821	12,000	